

平成29・30年度

国立教育政策研究所教育課程研究センター

関係指定事業（生活科）

中間公開授業研究会

（研究経過説明）



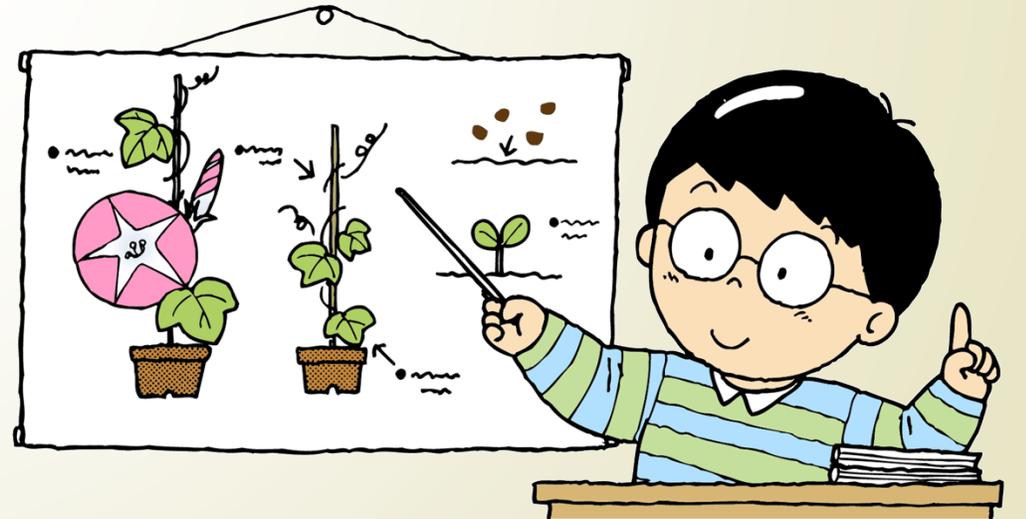


本校の研究について



研究主題

自ら課題をもち，進んで学ぼうとする子どもの育成
～かかわり合いを通して学びを深めていく指導を通して～



指導上の工夫の視点

①自分の思いや考えを引き出すために

- ・ 考える意欲を引き出す課題設定や提示の仕方の工夫
- ・ 的確な実態把握とともに子どもの思いや願いを大切に
したためあて（ねらい）の設定
- ・ 子どもの内面に生じた思いや考えを，具体的な表現と
して引き出すための工夫
- ・ 自分の考えを整理したり，ふくらませたりするための
手立ての工夫

指導上の工夫の視点

② 「話す力」や「聞く力」を育てるために

- ・ 学年に応じた話し方や聞き方の指導
- ・ 話し合いを深めるための、学び合いの場・学習形態の工夫

③ 「学びを生かそう」とする意欲を高めるために

- ・ 指導計画における体験や実践の場の設定
- ・ 活用や発展といった実践の在り方を意識づけていく工夫

④ 評価の工夫

⑤ 基礎的・基本的な学力の定着を図る指導の工夫

⑥ その他

生活科（総合的な学習の時間）の研究について



研究テーマ

思いや願いをもって「ひと・もの・こと」とかかわり、
気づきの質を高め表現する子どもの育成
～地域とつながる生活科の授業を通して～

研究の視点

視点 1

子どもが**思いや願いをもって**かかわるために
(主体的な学びの実現)

視点 2

子どもが**考えを深め、表現**するために
(対話的で深い学びの実現)

平成29年度 前期の研修計画

- **児童の実態把握，育成を目指す資質・能力の具体化**
- **生活科に関わる諸計画の見直しと活用**
研究計画・全体計画・年間指導計画・単元計画
スタートカリキュラムを含む，
生活科を中心としたカリキュラムマネジメント
- **地域素材の見直し，掘り起こしとそれらの活用**
- **地域の「人・もの・こと」との出会いの場の工夫**
- **サポート団体の掘り起こしと持続可能な連携**



これまでの取組

児童の実態把握，育成を目指す資質・能力の具体化

～アンケートの分析～

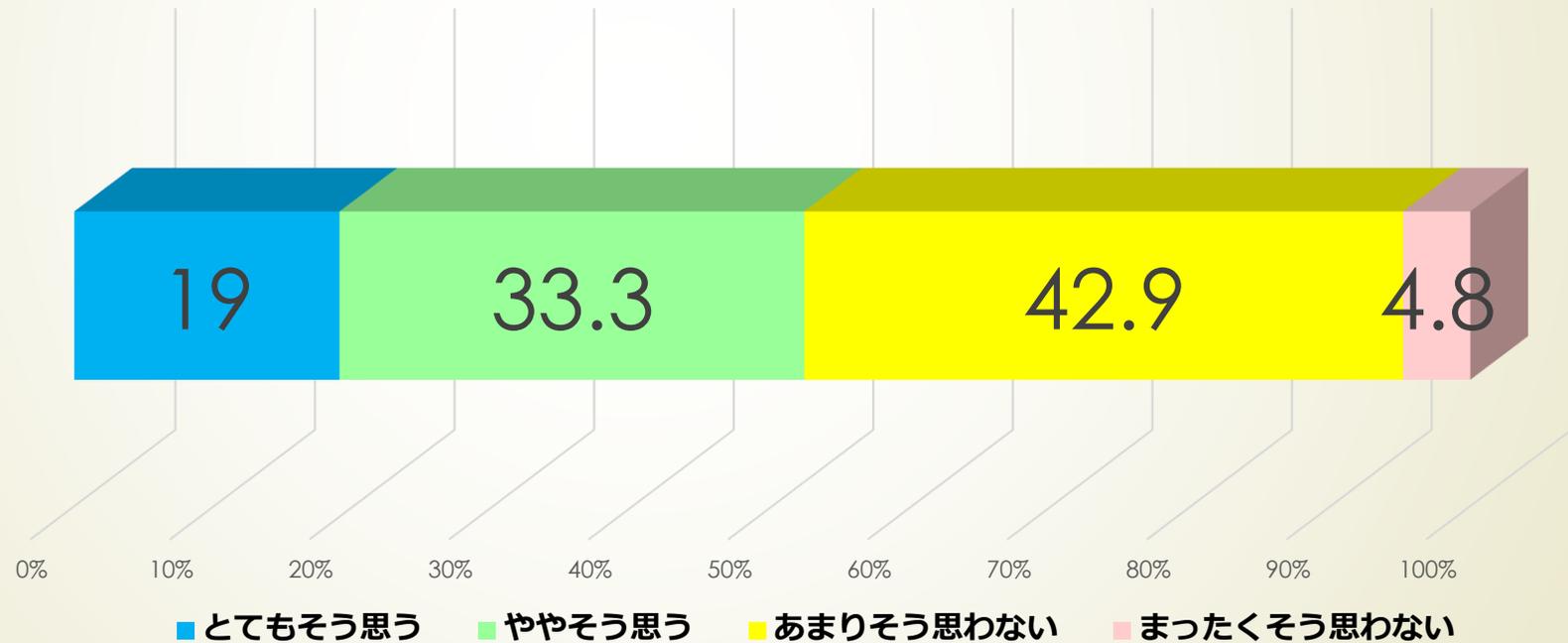
生活科の学習を好んでいるか



児童の実態把握，育成を目指す資質・能力の具体化

～アンケートの分析～

家族以外の地域の人と接する機会があるか

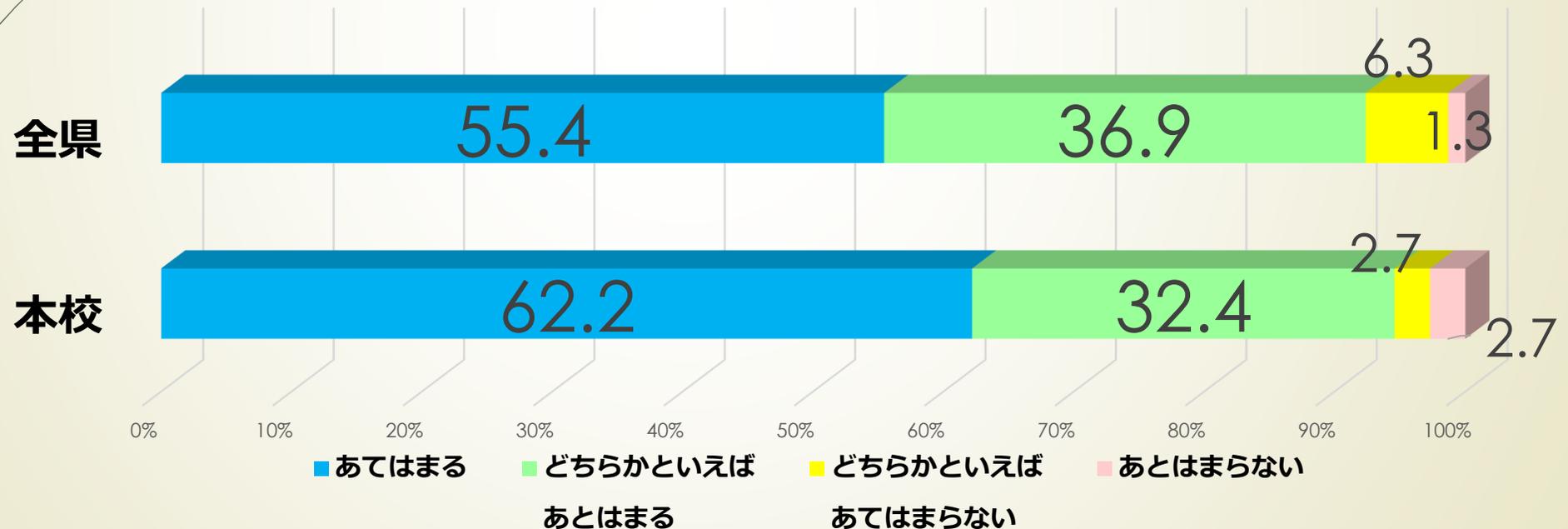


児童の実態把握，育成を目指す資質・能力の具体化

～アンケートの分析～

地域のためになる活動を進んで取り組んでみたいと思う

(現6年生)

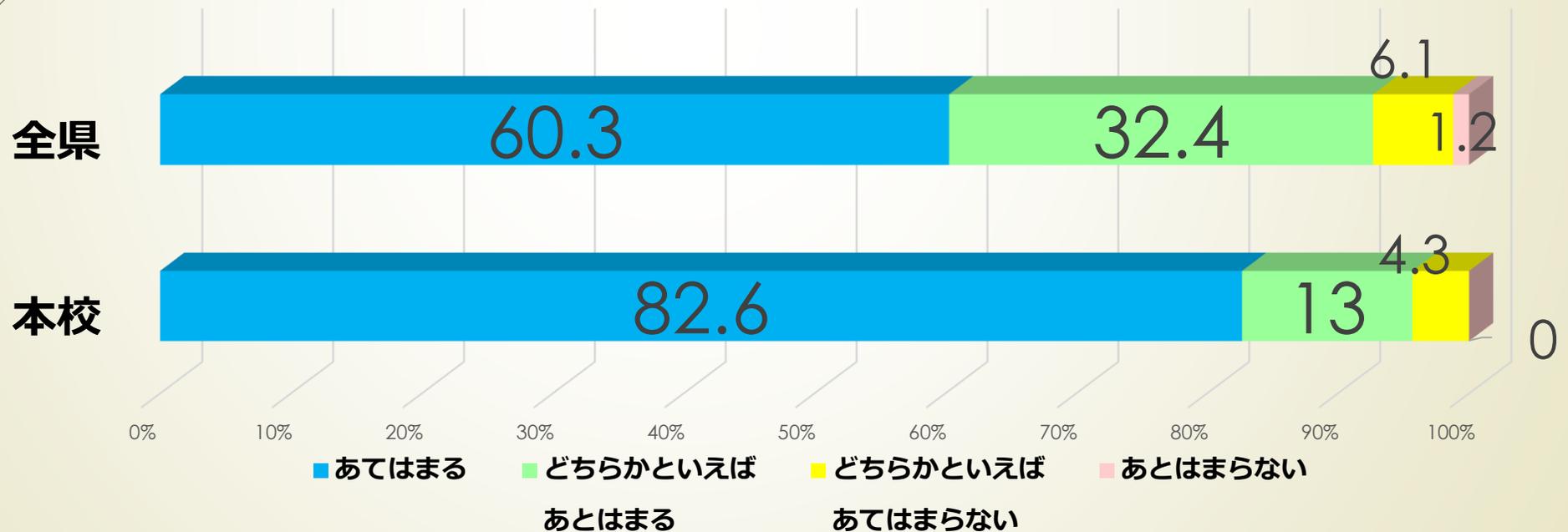


児童の実態把握，育成を目指す資質・能力の具体化

～アンケートの分析～

地域のためになる活動を進んで取り組んでみたいと思う

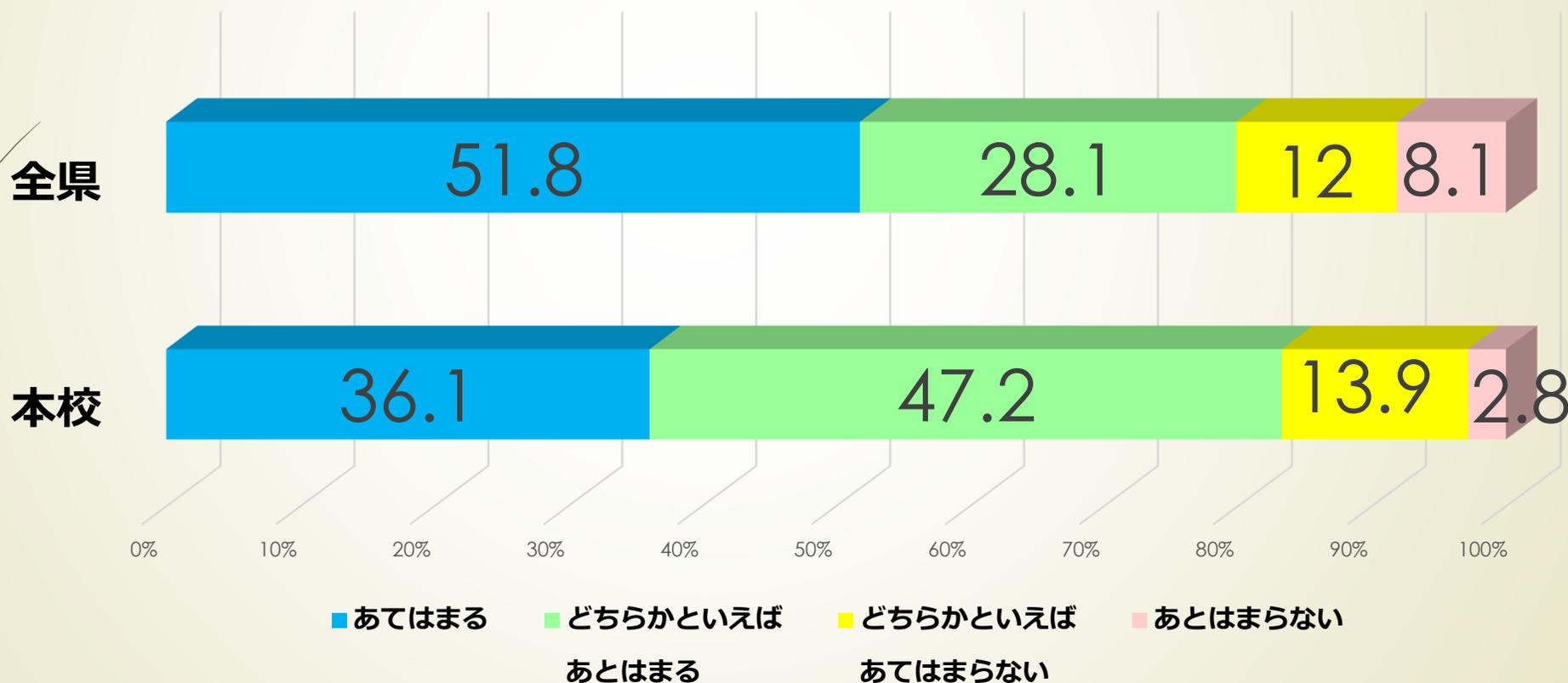
(現5年生)



児童の実態把握，育成を目指す資質・能力の具体化

～アンケートの分析～

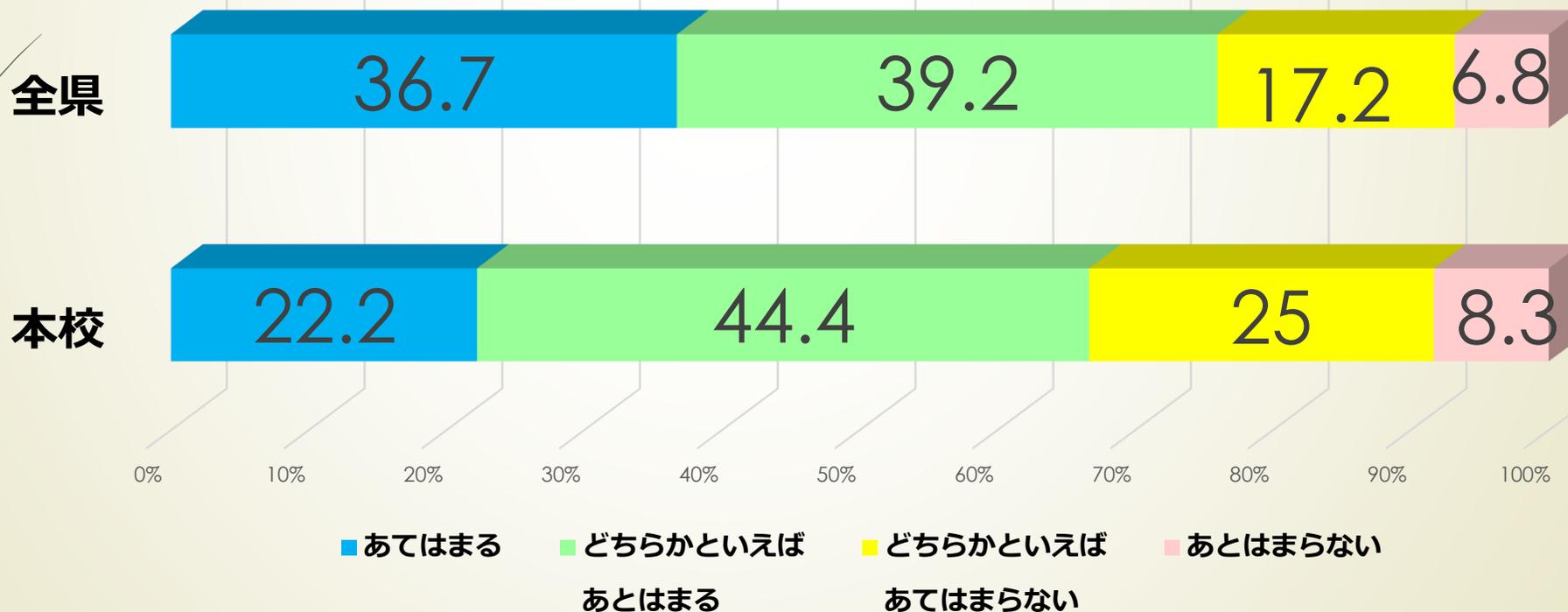
今住んでいる地域の行事に参加しているか。



児童の実態把握，育成を目指す資質・能力の具体化

～アンケートの分析～

地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があるか

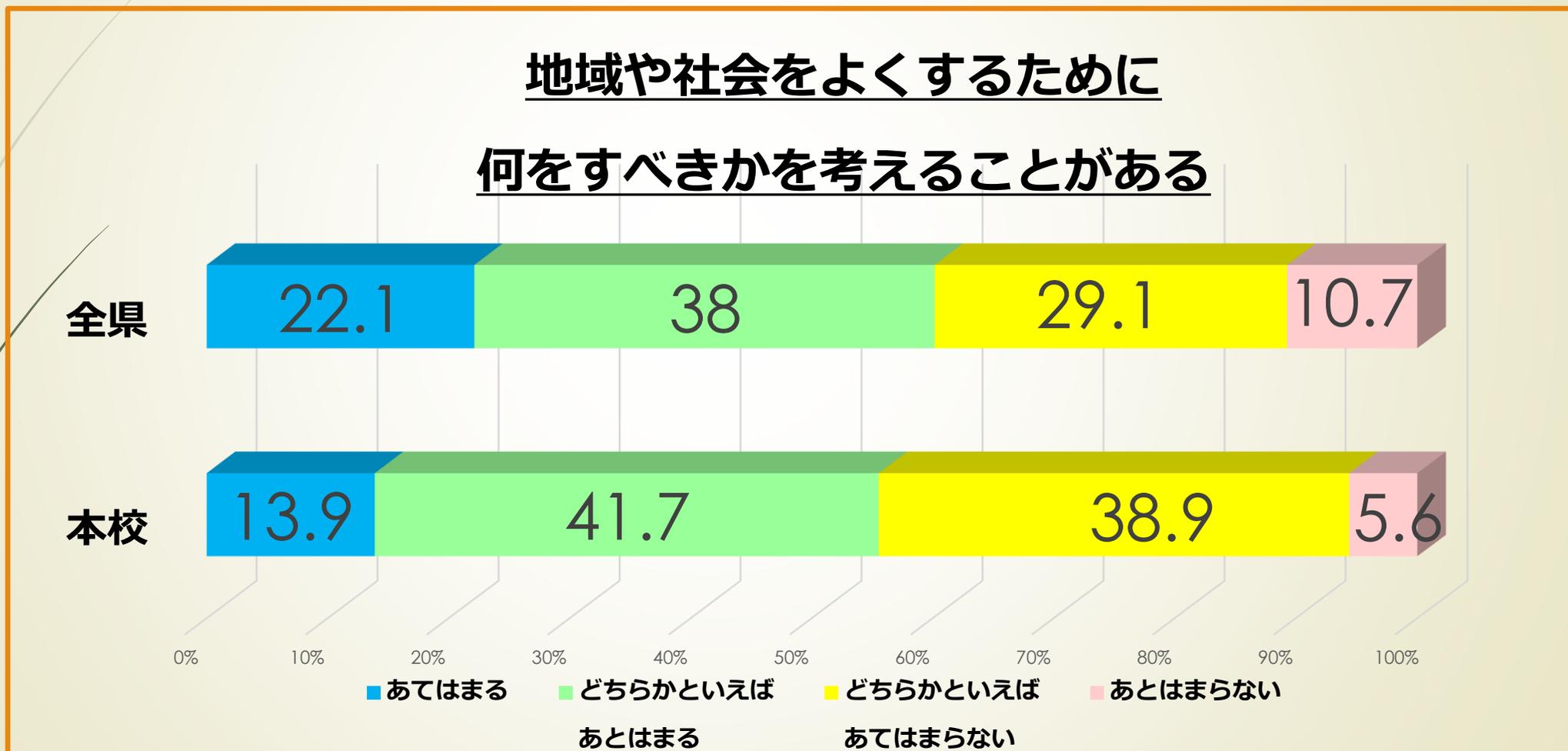


児童の実態把握，育成を目指す資質・能力の具体化

～アンケートの分析～

地域や社会をよくするために

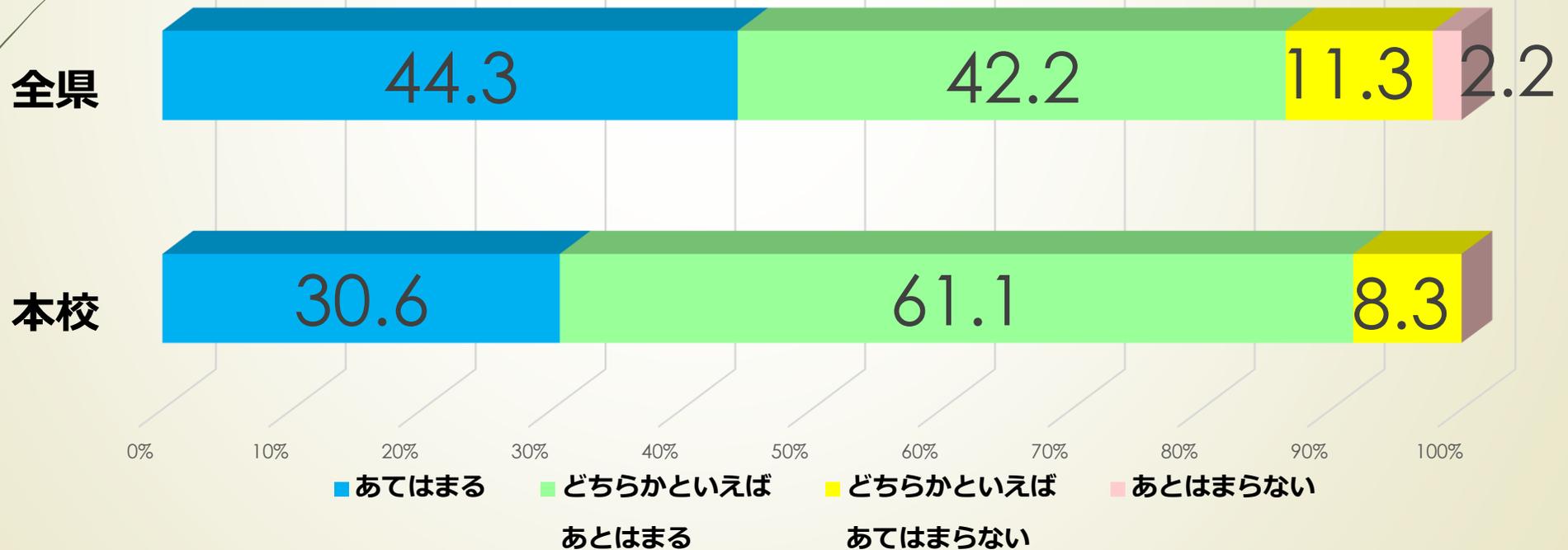
何をすべきかを考えることがある



児童の実態把握，育成を目指す資質・能力の具体化

～アンケートの結果～

(総) 自分で課題を立てて情報を集め整理し，調べたことを発表するなどの活動に取り組んでいるか



児童の実態把握，育成を目指す資質・能力の具体化

～授業研究会の実施（6月）～

【生活科】 2年 「どきどき わくわく まちたんけん」の実践から

☆探検をして見つけた驚き，におい，大きさ，数等が子どもたちが選んだ発表方法で伝わるのか。

→「○○には▲▲がありました」

子どもが感じた気付きを，どのような方法で伝えさせるのか？

☆カード等に表れていない子どもの思いを見取るために，活動している姿と照らし合わせたり（今回は探検時応援団にお願いしたメモ・教師が作成したメモがよかった），カードに書かれた言葉をもとに対話したりする場があればよかった。

形に表れていない子どもの気付きを，どのような方法で表出させるのか？

児童の実態把握，育成を目指す資質・能力の具体化

～授業研究会の実施（6月）～

【総合的な学習の時間】

4年 「ふるさとの今を見つめて ～発信しよう！ふるさとのよいところ～」の実践から

☆ 40時間という単元の計画ではあるが，探究する力がスパイラルになっている。

☆ 本時は発表方法より発表内容について吟味する時間ではなかったか。→本時のメインは「改善点を見出すこと」である。

例) ～というアドバイスがあったので

☆ 個の課題をはっきりさせ

「発信方法」を検討し合う際の視点を明確に，または焦点化を図る

☆ （来年度に向けて）取組の紹介だけでなく，「～の取組をしたら，子どもたちが～に変わった」という発信をしてほしい。

児童の実態把握，育成を目指す資質・能力の具体化

～教員の具体的な取組の例（生活科）～

○「～したい。」「～をしてみたい。」「～かあるといいな。」
自分の気持ちや思いを素直に表現できるような学習
環境（人的・自分自身も含めて）

子どもの思いや願いを
大切に

子どもたちの「やってみたい」と思いを生かすことを大切にしてきた。

ある程度「任せられるところ」を意識し、できるだけ見守るようにし
た。

子どもの力を信じる

○50音の習得に差があるので、書くことが嫌にならな
ようにしてきた。（書けなくても絵やメモ，書けなくても話すこと
でき人はよしとした）

つたないものでも表現
することを大切に

他教科との関連を意識し、学習をより関連付けて進めてきた。

他教科との関連
（合科的な指導）

児童の実態把握，育成を目指す資質・能力の具体化

～教員の具体的な取組（総合的な学習の時間）～

子どもの目線で探すことで主体的な学習につながるようにした。
地域の人材やものにふれられる機会を、効果的に取り入れられるよう
考えてきた。

・なるべく子どもたちが考えた。ただ、実現できないものもある。子どもの思いからそれないようにと気を付けて取り組んできたつもりだ。

年度初めにこれまでの経験を振り返った上で、子どもとともに
学習内容（単元）を構想していった。

一人一人が学習課題をつくり，そしてそれを紹介し合う
通して，それが「みんなで」「グループで」調べていく
可能であるかを考える場を設けた。

課題追究のために，必要なことは？ その方法は？ など学習
の進め方を適宜考えるようにしてきた。

**子どもの思いや願いを
大切にした単元づくり・主体的な学習への支援**

**スパイラルで取り組めるような
単元（学習過程）の設定**

探究プロセスの指導

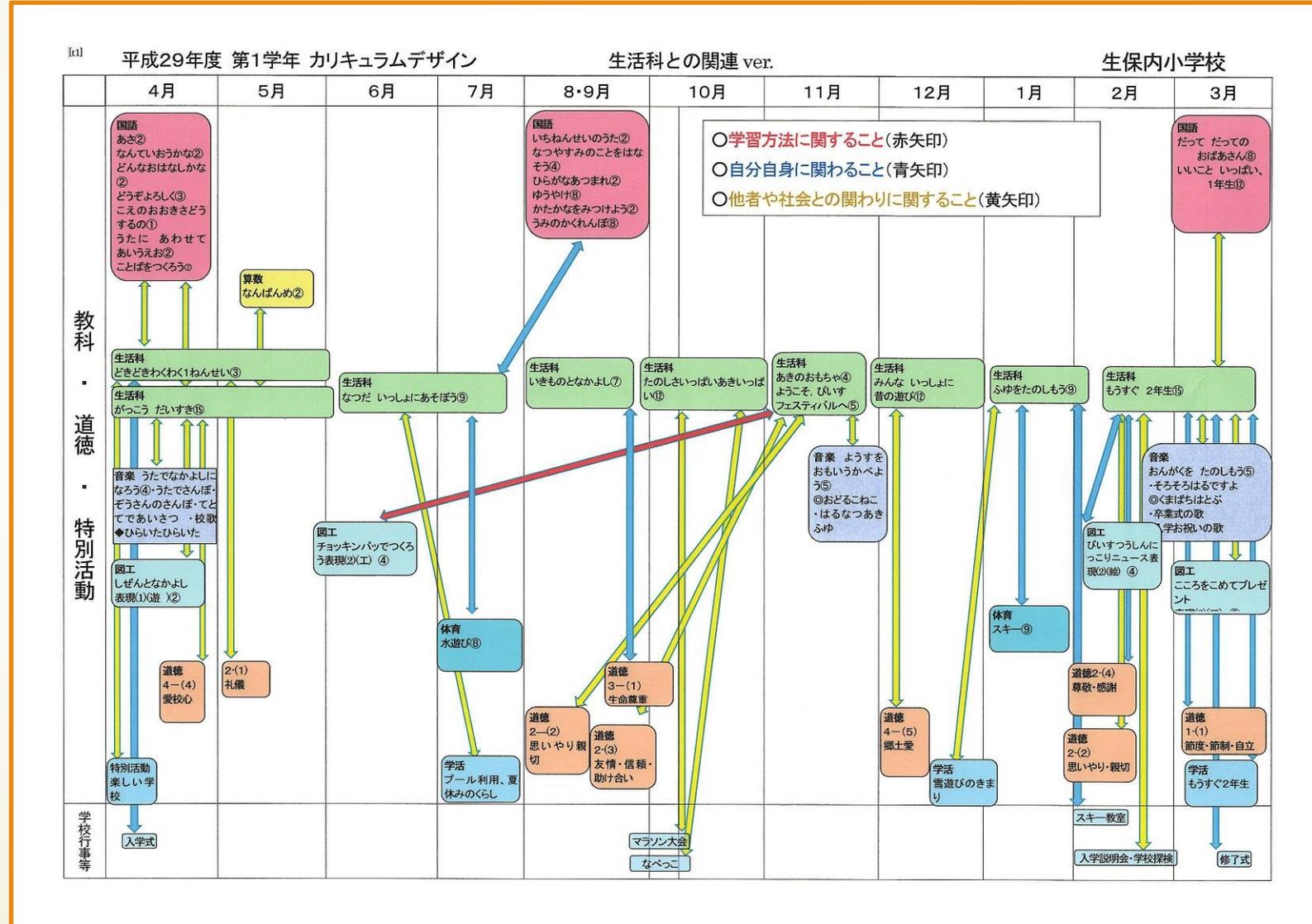
児童の実態把握，育成を目指す資質・能力の具体化

カリキュラムデザイン（生活科との関連）の作成

・他教科とのつながりを...

- ① **学習方法**に関すること
- ② **自分自身**に関すること
- ③ **他者や社会とのかかわり**に関すること

の視点で矢印で結び，関連性を可視化



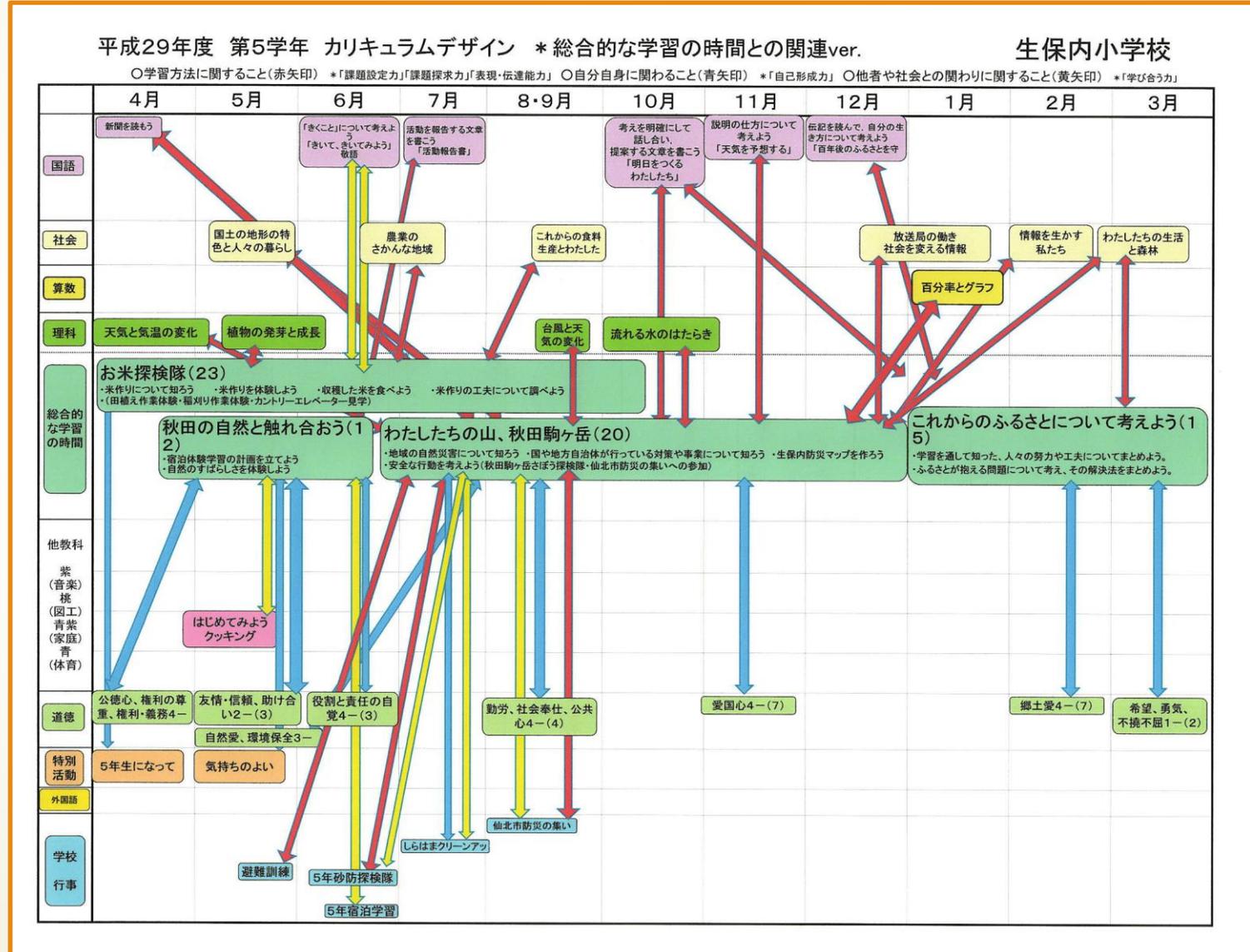
児童の実態把握，育成を目指す資質・能力の具体化

カリキュラムデザイン (総合的な学習の時間との 関連) の作成

・他教科とのつながりを...

- ① **学習方法**に関する事
- ② **自分自身**に関する事
- ③ **他者や社会とのかかわり**に関する事

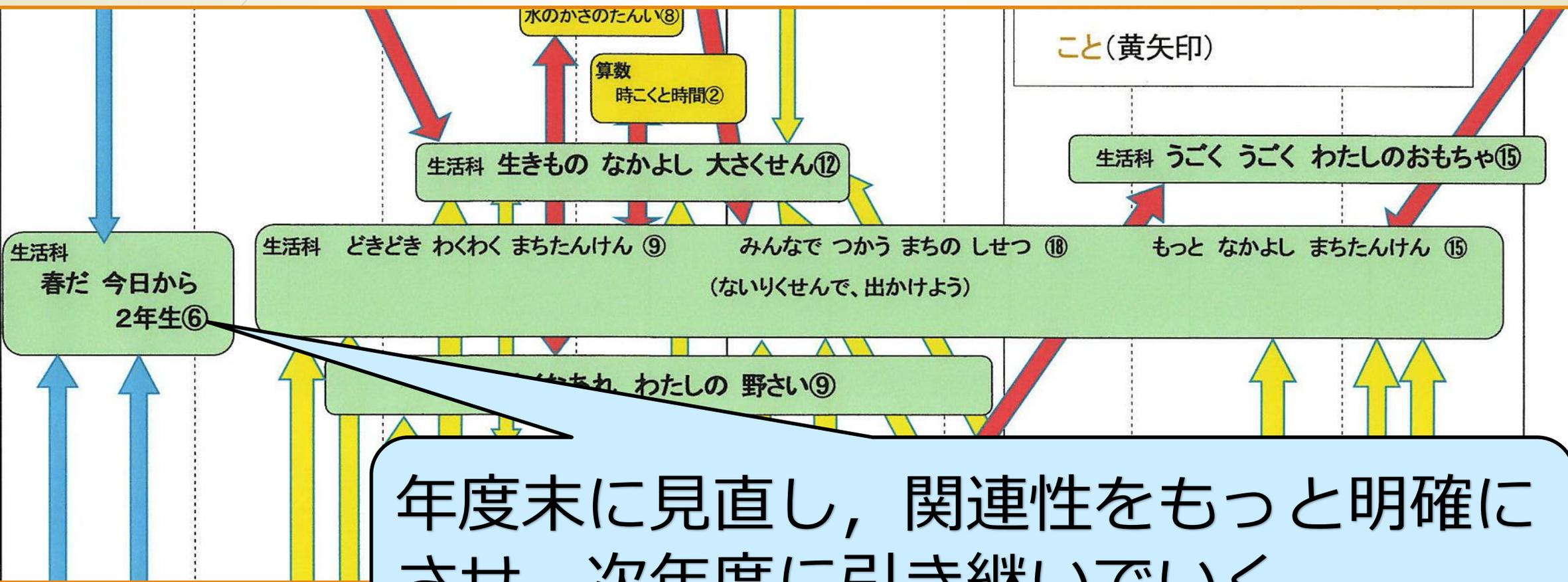
の視点で矢印で結び，関連性を可視化



児童の実態把握，育成を目指す資質・能力の具体化

2年生「生活科」の例

教科
・
道徳
・
特別



生活科に関わる諸計画の見直しと活用

～研究計画・全体計画・年間指導計画・単元計画～

総合的な学習の時間の 全体計画の見直し

平成29年度
☆いぬわしタイム（総合的な学習の時間）全体計画☆

【子どもの実情】
・児童の生活や学習の状況が、地域や社会とつながり、変化している。
・ICTの活用が、学習の場を広げ、学習の質を高める。
・学習者の個性や能力が、学習の場を広げ、学習の質を高める。

【学校教育目標】
夢に向かって やさしく「かしこく」たくましく！

【めざす子ども像】
めあてをもち、
他との関わりを通して思いや考えを伝え合い、
学びを深めていく子ども

【いぬわし学習の目標】
「ふるさと」のよさがわかり、ふるさとが大好きな子ども
自分の生活や地域の自然や文化、人々との関わりを通して関心をもち、
他との関わりを通して思いや考えを伝え合い、
学びを深めていく子ども

【地域の現状】
・環境や自然の中心を置き、歴史や文化の宝庫として、ふるさとを大切にしている。
・地域や社会とつながり、変化している。
・ICTの活用が、学習の場を広げ、学習の質を高める。

【学習の場】
・学校内外の様々な場を活用して学習の場を広げ、学習の質を高める。
・ICTの活用が、学習の場を広げ、学習の質を高める。

【自己形成力】
・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。
・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。
・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。

【生活科との関係】
・生活科や体験を通して、自分自身のかんばりや成長を自覚し、よさや可能性を生かして、生活科をよりよいものにしていくこととする。

【育てようとする資質や能力及び相関】	【自己形成力】（自分自身に関わること）
「課題設定力」「課題解決力」「意思決定力」「発表力」「協働力」「主体的な学習態度」	「自己形成力」
【いぬわし学習の重点】 ふるさと学習を中核に位置づけ、4年間を通じたふるさとにかかわる課題を学習する。	
3・4年	5・6年
<p>【課題設定力】 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。</p> <p>【課題解決力】 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。</p> <p>【意思決定力】 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。</p> <p>【発表力】 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。</p> <p>【協働力】 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。</p> <p>【主体的な学習態度】 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。</p>	<p>【課題設定力】 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。</p> <p>【課題解決力】 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。</p> <p>【意思決定力】 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。</p> <p>【発表力】 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。</p> <p>【協働力】 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。</p> <p>【主体的な学習態度】 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。 ・自分の生活や行動と結びつけて考えようとする。</p>

学年	3年	4年	5年	6年
学習対象	○地域の自然や文化を守る人々	○商店街や地域の活性化に関わっている人々	○地域の自然環境にかかわる人々	○将来への希望とのかかわりで暮らしている人々
学習事項	ふるさとと自然や文化のよさを伝える。	ふるさとと自然や文化のよさを伝える。	よりよいふるさとを築く。	ふるさとと自然や文化のよさを伝える。

学習活動	指導方法	評価
○単元学習を通して、学期に応じた学習活動を行う。	○主体的な学習の場を確保し、協働性を高める。	○学習活動の様子や成果を評価し、学習の場を広げ、学習の質を高める。

単元	国語科	社会科	算数科	理科	生活科	音楽科
○単元学習を通して、学期に応じた学習活動を行う。	○国語科の学習を通して、ふるさとや自然のよさを伝える。	○社会科の学習を通して、ふるさとや自然のよさを伝える。	○算数科の学習を通して、ふるさとや自然のよさを伝える。	○理科の学習を通して、ふるさとや自然のよさを伝える。	○生活科の学習を通して、ふるさとや自然のよさを伝える。	○音楽科の学習を通して、ふるさとや自然のよさを伝える。

育てようとする各資質・能力に、「生活科との関連」を記載した。

「課題設定力」「課題探究力」		
【いぬわし学習の重点】 ふる		
3・4年		
いぬわし学習でめざす子どもの姿	<p>【課題設定力】 ○生活や体験を通して、気付いたことや疑問に思ったことをもとに、たいことを見付け、課題を設定する。</p>	<p>関心をもとに、生活や体験を通して得られた気付きや疑問を対比したりしながら、課題を設定する。</p>
	<p>【課題探究力】 ○課題解決の見通しをもち、学習計画を立てる。 ○対象や目的に合わせて進んで情報を収集する。 ○集まった情報を整理し、分析して考える。</p>	<p>【課題探究力】 ○手順を考えるなど課題解決の見通しをもち、学習計画を立てる。 ○対象や目的に合わせて調べる手段を選択し、情報を収集する。 ○集まった情報を整理・分析し、さらに比較したり、関連づけたりしながら考える。</p>
	<p>【表現・伝達能力】 ○わかったことや学んだこと、自分の思いや考えを、相手や目的に応じて表現する方法を工夫し、まとめたり、伝えたりする</p>	<p>【表現・伝達能力】 ○わかったことや学んだこと、自分の思いや考えを、相手や目的に応じて効果的に表現する方法を工夫し、分かりやすくまとめたり、伝えたりする。</p>
	<p>【生活科との関連】 ・身近な社会や自然に興味・関心をもち、自分の課題に向かって繰り返しかわる。 ・自分なりに感じたことや思ったこと、考えたことなどを表現したり、伝え合ったりする。</p>	
<p>【自己形成力】 ○学んだことを自分の生活や行動と結び付けて生かそうとする。 ○学んだことをもとに、自らの生活や成長を振り返り、高めようとする。 ○自分と地域とのつながりに気付き、地域を大切にしようとする。</p>	<p>【自己形成力】 ○学んだことを自分の将来や生き方と結び付けて進んで生かそうとする。 ○学んだことをもとに、自らの生活や成長を振り返り、現在や将来の生き方を考え、高めようとする。 ○自分と地域のかかわりを考え、地域に対する誇りをもつ。</p>	
<p>【生活科との関連】 ・活動や体験を通して、自分自身</p>		
<p>【学び合う力】 ○相手の立場や気持ちを考え、他者 ○自分や友達のように気付き、自分 ○体験や活動対象に素直にかかわり</p>		
<p>【生活科との関連】 ・友達や先生</p>		

- ①育てようとする「資質・能力」の精選
- ②子どもも使える文言に...

生活科に関わる諸計画の見直しと活用

～研究計画・全体計画・年間指導計画・単元計画～

「生活科・総合的な学習の時間」学習関連系統表の作成

平成29年度 「生活科・総合的な学習の時間」学習関連系統表（生保内小学校）

【学校教育目標】 夢に向かって やさしく！ かしこく！ たくましく！

【研究主題】 自ら課題をもち、進んで学ぼうとする子どもの育成
～かかわり合いを通して学びを深めていく指導を通して～

【めざす子どもの姿】 めあてをもち、他とのかかわり合いを通して思いや考えを伝え合い、学びを深めていく子ども

【生活科の研究主題】 思いや願いをもって「ひと・もの・こと」と関わり、気付きの質を高め表現できる子どもを育てる指導の工夫

【学習内容の選択】

- 認定こども園との連携を図り、実態把握をし、実態を踏まえた育成すべき力を具現化する。
- 気付きの質を高めることができるように、試行錯誤したり、繰り返してかかわったりすることができる活動や体験を設定する。
- 互いのよさや、気付きの違いや共通点を見い出せるように、伝え合いや交流する活動を充実させる。
- 子どもの思いを生かした単元構成の工夫と、多様な表現を引き出す指導方法を工夫する。

【いぬわし学習（総合的な学習の時間）の目標】 「ふるさとのよさがわかり、ふるさとが大好きな子ども」自分の生活と地域の自然や社会、人々とのかかわりを通して関心をもち、自ら課題を見つけ、仲間と協力しながら、探求的な学習に取り組み、学び方やものの考え方を身に付け、ふるさとと関係性に対する誇りと愛情を高め、よりよく生きようとする態度を育てる。

【いぬわし学習の重点】 ふるさと学習を中核に位置づけ、4年間を通じたふるさとにかかわる課題を学習する。

【育てようとする資質や能力及び態度】 「課題設定力」「課題探求力」「表現・伝達能力」（学習方法に拠ること）「自己形成力」（自分自身に関わること）「学び合う力」（他者や社会との関わりに関すること）

【主な学習内容（テーマ）等】

***中学校**

【生保内中学校・総合的な学習の時間の目標】 活動の中から課題を見だし、解決に向けて主体的に行動し、学んだことを工夫して表現できる生徒の育成

【指導の重点】

- 体験を通して課題を見つけ解決する学習
- 「発見」→「探究」→「自立」という流れを意図した学習
- 学んだことを工夫して発表、表現する学習や学年の異進展開を考慮し、学年単位の学習活動を展開する。

中学校 3年	発見 探究 自立	①東京への修学旅行を通して、他県や他地域への見聞を広げ、ふるさとを見つめ直す。 ②「高校体験入学」を通して、自分の進路を見つめ、将来の生き方を考える。
中学校 2年	発見 探究	①県庁所在地を訪問し、私たちの住む地域とのつながりを学ぶ。 ②「キャリア体験学習」や「上級学校訪問」を通して、働くことについて学ぶ。
中学校 1年	発見	①登山や植物観察等を通して、郷土の自然にふれ、郷土のよさを知り、郷土から学ぶ。 ②「身近な職業調べ」を通して、職業について学ぶ。

☆小学校「総合的な学習の時間」

小学校 6年	ふるさとと世界、そして未来へ 「ふるさと再発見！」「未来に目を向けよう！」
小学校 5年	よりよいふるさとを求めて 「お米探検隊」「秋田の自然と触れ合おう」 「わたしたちの山、秋田駒ヶ岳」「これからのふるさとについて考えよう！」
小学校 4年	ふるさとのきを見つめて 「発信しよう！ふるさとのよいところ」「1/2成人式をしよう」「福祉ってなあに？」
小学校 3年	ふるさとのよさを見つつけよう 「すてき発見、田沢湖！パートI」「すてき発見、田沢湖！パートII」「ありがとうを伝えよう」

☆小学校「生活科」 *総合的な学習の時間の内容につながるものを抜粋

小学校 2年	「どきどきわくわくまちたんけん（まちたんけんをしよう）」 「みんなでつかまちのしせつ（電車についてでかけよう）」 「もつとなかよしまちたんけん～おぼない大すき～（もういちどたんけんに行こう）」
小学校 1年	「がっこうだいすき（こうていを たんけんしよう）」「なつだ あそぼう（おぼないこうえんであそぼう）」 「たのしいあきいつばい（こうえんであきさをさがそう）」

***認定こども園（だしのご園）** *保育課程・教育課程より関係のあるものを抜粋

年長児	身近な環境に進入でかかわり、季節や生活の変化に気付くこととそれを生活に取り入れようとする。 様々な事象にふれ、自分の生活の関連を考えたり、遊びを工夫したりする。 ・ 疑問にもったこと発見したことについて調べ。
-----	--

【主な学習内容（テーマ）等】

*中学校

【生保内中学校・活動の中から課題】

【指導の重点】

- ・ 体験を通して課
- ・ 「発見」→「探
- ・ 学んだことを工



中学校 3年	発見 探究 自立	②「高校体験」...の、将来の働き方を考える。
中学校 2年	発見 探究	①見...私たちの住む地域とのつながりを学ぶ。 「体験学習」や「上級学校訪問」を通して、働くことについて学ぶ。
中学校 1年		③登山や植物観察等を通して、郷土の自然にふれ、郷土のよさを知り、郷土から学ぶ。

小学校だけでなく、就学前（園）や卒業後（中学校）のものも載せ、園・小・中との関連を一覧に表した。

☆小学校「総合的な学習の時間」

小学校 3年	ふるさと のよさを 見つけよう 「すてき発見、田沢湖！パートⅠ」「すてき発見、田沢湖！パートⅡ」「ありがとうを伝えよう」
-----------	---

☆小学校「生活科」

小学校 2年	「どきどきわくわくたんけん（まちたんけんをしよう）」 「みんなでつかいよう（電車にのってでかけよう）」 「もつとなかよしたんけん（おもしろくない大すき～（もういちどたんけんに行こう）」
-----------	--

小学校 1年	
-----------	--

園や中学校と共有し、見直しを図っていききたい。



*総合的な学習の時間の内容につながるものを抜粋

生活科に関わる諸計画の見直しと活用

～スタートカリキュラムを含む、生活科を中心としたカリキュラムマネジメント～

スタートカリキュラム 仙北市立生保内小学校

第1週 小学校生活とはどのようなものかを知り、小学校についての不安を解消しながら、楽しく過ごせるようにする。

	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)
行事	下校指導	下校指導	給食開始 地区子ども会	PTA授業参観日	
朝	登校指導 読みの聞かせ 朝の会	登校指導 読みの聞かせ 朝の会	登校指導 読みの聞かせ 朝の会	登校指導 読みの聞かせ 朝の会	登校指導 読みの聞かせ 朝の会
1	【学活】 玄関やロッカーの 使い方	【体育】 体育着に着替える (着替え場所、体 育袋、ロッカー)	【国語】 自分の名前を書く 【図工】 好きな絵を描く	【国語】 音読してみよう	【国語】 あいさつの仕方 職員室の入り方
2	【生活】 どんなことを勉強 するのかな	【身体計測】 並び方 (自由帳の使い方)	【生活】 自己紹介をしよう (地区子ども会グ ループ分け)	【算数】 さんすうボックス の使い方	【算数】 1～10までの数
3	【学活】 朝の準備 朝の会 下校指導グループ	【生活】 どんなことを勉強 するのかな (朝の準備)	【生活】 学校を探検しよう	【学活】 掃除の仕方 掃除の練習	【国語】 鉛筆の持ち方 運筆練習
4	(下校指導)	(下校指導)	【学活】 給食の準備 楽しい食事 後片付け	【学活】 給食の準備 楽しい食事 後片付け	【学活】 給食の準備 楽しい食事 後片付け
5			【学活】 掃除の仕方 掃除の練習	【学活】 小学校の勉強を いろいろやってみ よう	【音楽】 校歌を歌おう じゃんけん列車 よう
下校	11:45	11:45	14:55	14:05	14:55
特記事項			長休みに地区子ど も会		

【○環境の視察 *支援・準備等】
 ○休み時間に行きつよい範囲を教室付近に限定する。
 ○給食については、分かりやすく動きやすい流れでできるよう配慮する。
 ○地区子ども会は、地区名カードを準備して地区長からのお迎えがスムーズにいくようにする。

*休み時間も、なるべく複数の目で児童の安全を見守ったり声かけをしたりする。
 *学校生活についての不安をその場その場で解決し、安心感をもたせるようにする。

・下校指導について、7年部へ協力依頼
 ・授業参観は、国語(音読・自分の名前)・図工(自分の名前)・音楽(今月の歌)と短時間で区切りながら、テンポよく進められるようにする。また、自分の名前・顔をかいたカードは、おうちのへプレゼントする。
 ・給食用具の準備(給食台・バケツ・ゴミ袋など)
 ・PTA学年懇談会資料

スタートカリキュラム 仙北市立生保内小学校

第1週 小学校生活とはどのようなものかを知り、小学校についての不安を解消しながら、楽しく過ごせるようにする。

	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)
行事	下校指導	下校指導	給食開始 地区子ども会	PTA授業参観日	
朝	登校指導 読みの聞かせ 朝の会	登校指導 読みの聞かせ 朝の会	登校指導 読みの聞かせ 朝の会	登校指導 読みの聞かせ 朝の会	登校指導 読みの聞かせ 朝の会
1	【学活】 玄関やロッカーの 使い方	【体育】 体育着に着替える (着替え場所、体 育袋、ロッカー)	【国語】 自分の名前を書く 【図工】 好きな絵を描く	【国語】 音読してみよう	【国語】 あいさつの仕方 職員室の入り方
2	【生活】 どんなことを勉強 するのかな	【身体計測】 並び方 (自由帳の使い方)	【生活】 自己紹介をしよう (地区子ども会グ ループ分け)	【算数】 さんすうボックス の使い方	【算数】 1～10までの数
3	【学活】 朝の準備 朝の会 下校指導グループ	【生活】 どんなことを勉強 するのかな (朝の準備)	【生活】 学校を探検しよう	【学活】 掃除の仕方 掃除の練習	【国語】 鉛筆の持ち方 運筆練習
4	(下校指導)	(下校指導)	【学活】 給食の準備 楽しい食事 後片付け	【学活】 給食の準備 楽しい食事 後片付け	【学活】 給食の準備 楽しい食事 後片付け
5			【学活】 掃除の仕方 掃除の練習	【学活】 小学校の勉強を いろいろやってみ よう	【音楽】 校歌を歌おう じゃんけん列車 よう
下校	11:45	11:45	14:55	14:05	14:55
特記事項			長休みに地区子ど も会		

【○環境の視察 *支援・準備等】
 ○休み時間に行きつよい範囲を教室付近に限定する。
 ○給食については、分かりやすく動きやすい流れでできるよう配慮する。
 ○地区子ども会は、地区名カードを準備して地区長からのお迎えがスムーズにいくようにする。

*休み時間も、なるべく複数の目で児童の安全を見守ったり声かけをしたりする。
 *学校生活についての不安をその場その場で解決し、安心感をもたせるようにする。

・下校指導について、7年部へ協力依頼
 ・授業参観は、国語(音読・自分の名前)・図工(自分の名前)・音楽(今月の歌)と短時間で区切りながら、テンポよく進められるようにする。また、自分の名前・顔をかいたカードは、おうちのへプレゼントする。
 ・給食用具の準備(給食台・バケツ・ゴミ袋など)
 ・PTA学年懇談会資料

生活科に関わる諸計画の見直しと活用

～スタートカリキュラムを含む，生活科を中心としたカリキュラムマネジメント～

今後，年度中に園小でカリキュラムづくりの研修の機会を設けて，見直しを図る（アプローチカリキュラムも）。

朝	登校指導 読み聞かせ 朝の会	登校指導 読み聞かせ 朝の会		
1	[学活] 玄関やロッカーの 使い方	[体育] 体育着に着替え (着替え場所， 育袋，ロッカー)		
2	[生活] どんなことを勉強 するのかな	[身体計測] 並び方 (自由帳の使い方)		
3	[学活] 帰りの準備 帰りの会 下校指導グループ	[生活] どんなことを勉強 するのかな (帰りの準備)	[生活] 学校を探検し てみる	[生活] 帰りの準備 の持ち方 【環境の構成 *支援 *準備等】 ○休み時間に行ってよい範囲を教室付近に限定する。 ○給食については，分かりやすく動きやすい流れでできるよう配慮する。 ○地区子ども会は，地区名カードを準備して地区長からのお迎えがスムーズに行くようにする。
4	(下校指導)	(下校指導)	[学活] 給食の準備 楽しい食事 後片付け	[学活] 給食の 楽しい 後片付
5			[学活] 掃除の仕方 掃除機・掃帚	[学活] 小学校 生活

担当教員だけでなく，全体で共通理解を図り，共有する場を設ける。

地域素材の見直し，掘り起こしとそれらの活用

～学習マップの作成～

○人材・見学先等

○ポイント・留意点

等を記載

生保内学習マップ

(1)年
教科(生活科)

単元(題材)名

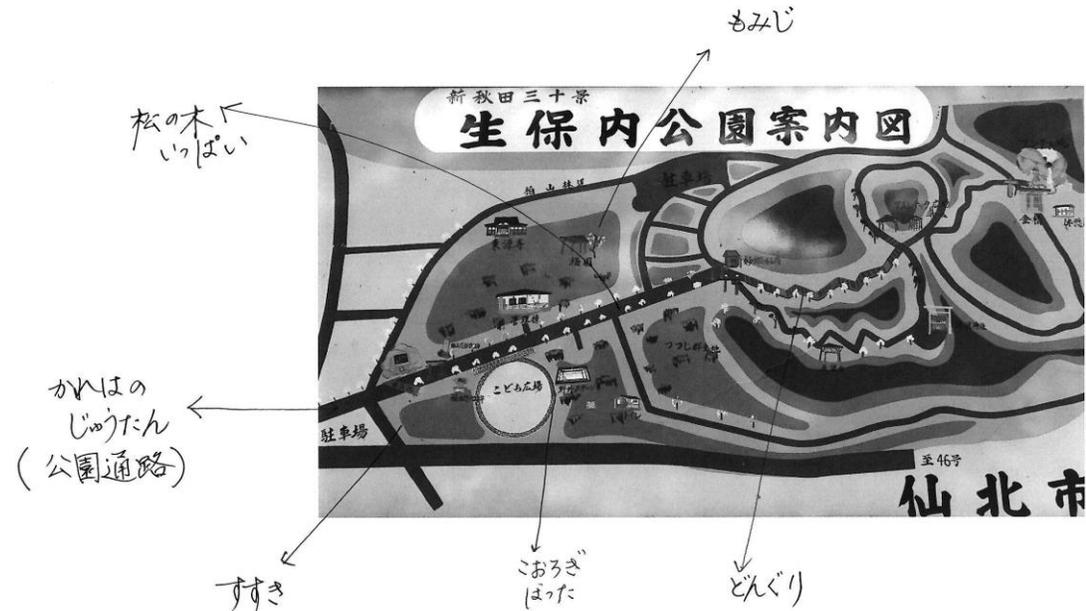
たのしい
あき いっぱい

主な学習内容

秋の公園に出かけ、動植物を観察したり、葉や木の実を
集める。

記載者

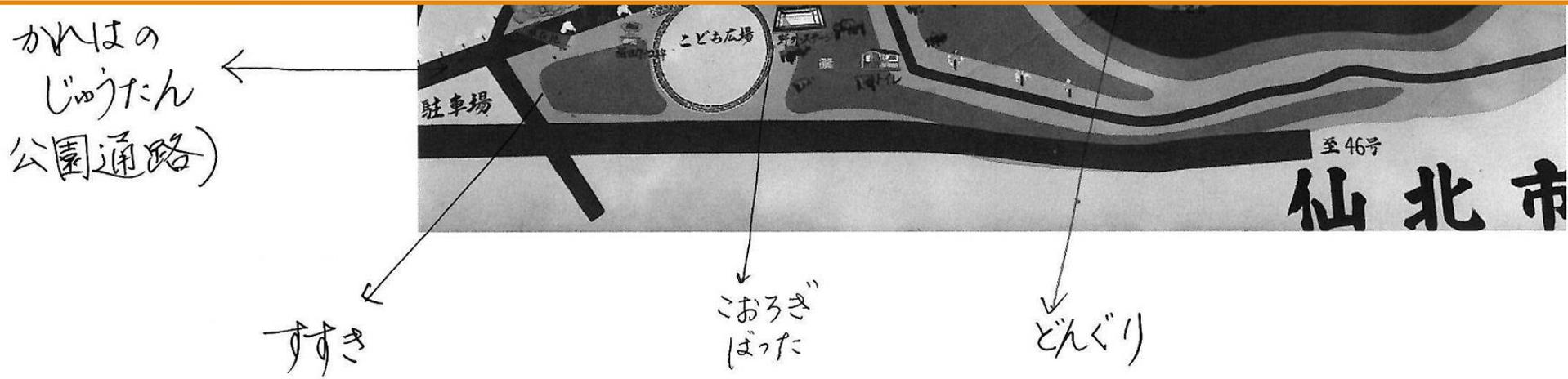
小松由美子



- ※ まつぼくりは公園中に落ちている。
- ※ 公園管理人さんがいて、クマ出没情報を確認したり、秋の自然物の収集の情報を教えてもらったりできた。
- ※ 10月下旬でも今年度は本当に10月末に収集できる。どんぐりは不作。

【生活科の例(1年)】

地域素材の見直し，掘り起こしとそれらの活用



※ まつぼくりは公園中に落ちている。

※ 公園管理人さんがいて、クマ出没情報を確認したり、秋の自然物の収集の情報を教えてもらったりできた。

どんぐりは不作。

活動場所でのポイント・留意点などを記録した。気軽にできるように，手書き用の枠も用意。

地域素材の見直し、掘り起こしとそれらの活用

～学習マップの作成～

生保内学習マップ

(4)年 教科(総合)	単元(題材)名 「発信しよう!ふるさとのよいところ」	主な学習内容 仙北市のよさを色々な方法で発信する。	記載者 山部幸信
----------------	-------------------------------	------------------------------	-------------

☆人材・見学先等 *氏名・施設名・電話番号・教えてくれる内容等

実際に関わっていただいた人達

- ・土屋和久さん(090-3334-0260) オモテナシ応援・・・キャラクターの作り方や利用の仕方を教えてもらった。
- ・青山重太さん(090-2988-2939) J-COM(角館)・・・シールや旗のデザインをしてもらった。
- ・国際教養大学村上剛太さん(080-1560-1216) info@niprovi47.jp・・・メディアを使ったPRの仕方を教えてもらった。
- ・島川祥さん(090-2362-2112)(FAX0187-43-2344)・・・ベリーなクッキーを実現させてくれた。
- ・仙北市観光商工部観光課・・・パンフレット作成に使う写真を提供してもらった。
Tel: 0187-43-3353 Fax: 0187-54-4102 仙北市角館町中町36
- ・駅前物産館 田沢湖市・・・見学させていただき、話を聞いたり、パンフレットをもらったりした。おみやげも頂いた。
〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内字水尻59-40 Tel: 0187-43-3511
- ・仙北市田沢湖観光情報センター「フォレイク」・・・見学させていただき、話を聞いたり、パンフレットをたくさんもらったりした。
Tel: 0187-43-2111 Fax: 0187-43-2077 仙北市田沢湖生保内字男坂68
- ・仙北市観光情報センター「角館駅前蔵」・・・各種パンフレットをもらった。
Tel: 0187-54-2700 Fax: 0187-54-1755 仙北市角館町上菅沢397-2
- ・田沢湖観光協会・・・2名来ていただき、パンフレットの作り方をアドバイスしてもらった。ポスターをたくさんもらった。
〒014-1201秋田県仙北市田沢湖生保内字宮ノ後39 電話: 0187-58-0083

☆その他 *ポイント・留意点等

活用できそうな・・・

- ・仙北市総務部総務課(代表) 〒014-1298 仙北市田沢湖生保内字宮ノ後30
Tel: 0187-43-1111 Fax: 0187-43-1300 電子メール: senboku@city.senboku.skits.jp
開庁時間: 月曜日から金曜日 8時30分から17時15分まで(祝日・休日・年末年始を除く)
- ・西木町観光協会
Tel・Fax共通: 0187-42-8480 仙北市小山田字八津249-1
- ・仙北市商工会/田沢湖支所
Tel: 0187-43-0372 〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内字街道ノ上85
- ・湖月まさき菓子店 コケツマサキカシテン
秋田県仙北市田沢湖生保内字街道ノ上38 Tel: 0187430248

姉妹都市(長崎県大村市) 友好都市(香川県さぬき市)
有縁友好交流都市(茨城県常陸太田市 秋田県秋田市)
災害時相互応援協定都市(愛媛県東温市)

【総合的な学習の時間の例(4年)】

☆人材・見学先

実際に関わっていた

・■■■さん
・・・駒ヶ岳

・■■■さん 仙北市総合庁舎内（0187-43-1111）
・・・地区内で土砂災害の危険箇所や、防災の方法について教えていた
・・・地区内の熊の出没地点や、から身を守る方法について教えていただいた

・■■■さん 仙北市教育委員長（仙北市教育委員会教育総務課）（0187-
・・・生保川で洪水被害が起こった当時の話をしてくれる人を紹介していた

学習の際に活用した外部指導者・連絡先・内容などを記録した。

記録の蓄積と次年度以降への効果的な活用
生活・総合以外でも取り組めるように...

地域の「人・もの・こと」との出会いの場の工夫

(1年生活科)

「がっこうたんけん」での
2年生との出会い

生保内公園での秋さがし

地域の「人・もの・こと」との出会いの場の工夫

(2年生活科)

まちたんけんでの
「まちの人たち」との出会い①

まちたんけんでの
「まちの人たち」との出会い②

地域の「人・もの・こと」との出会いの場の工夫

(3年総合的な学習の時間)

ご当地キャラクター
「オモテナシ3兄弟」との出会い



クニマス未来館での
田沢湖新発見！

地域の「人・もの・こと」との出会いの場の工夫

(4年総合的な学習の時間)

仙北市市長より
仙北市観光PR隊の委嘱

地域の方と協力した
秋田市での物産販売

地域の「人・もの・こと」との出会いの場の工夫

(5年総合的な学習の時間)

J A と協力した米づくり体験

防災ステーションでの学習

地域の「人・もの・こと」との出会いの場の工夫

(6年総合的な学習の時間)

修学旅行で歴史に触れる



仙北市役所，地方創生・
総合戦略課の方からの説明

サポート団体の掘り起こしと持続可能な連携

生保内地域運営体（嶽の会）

P T A 母親委員会

CRYING TIGER 秋田支部

神代活性化協議会

おはなしの会「アトリエ」

生保内友の会地域運営体

生小応援団

サポート団体の掘り起こしと持続可能な連携

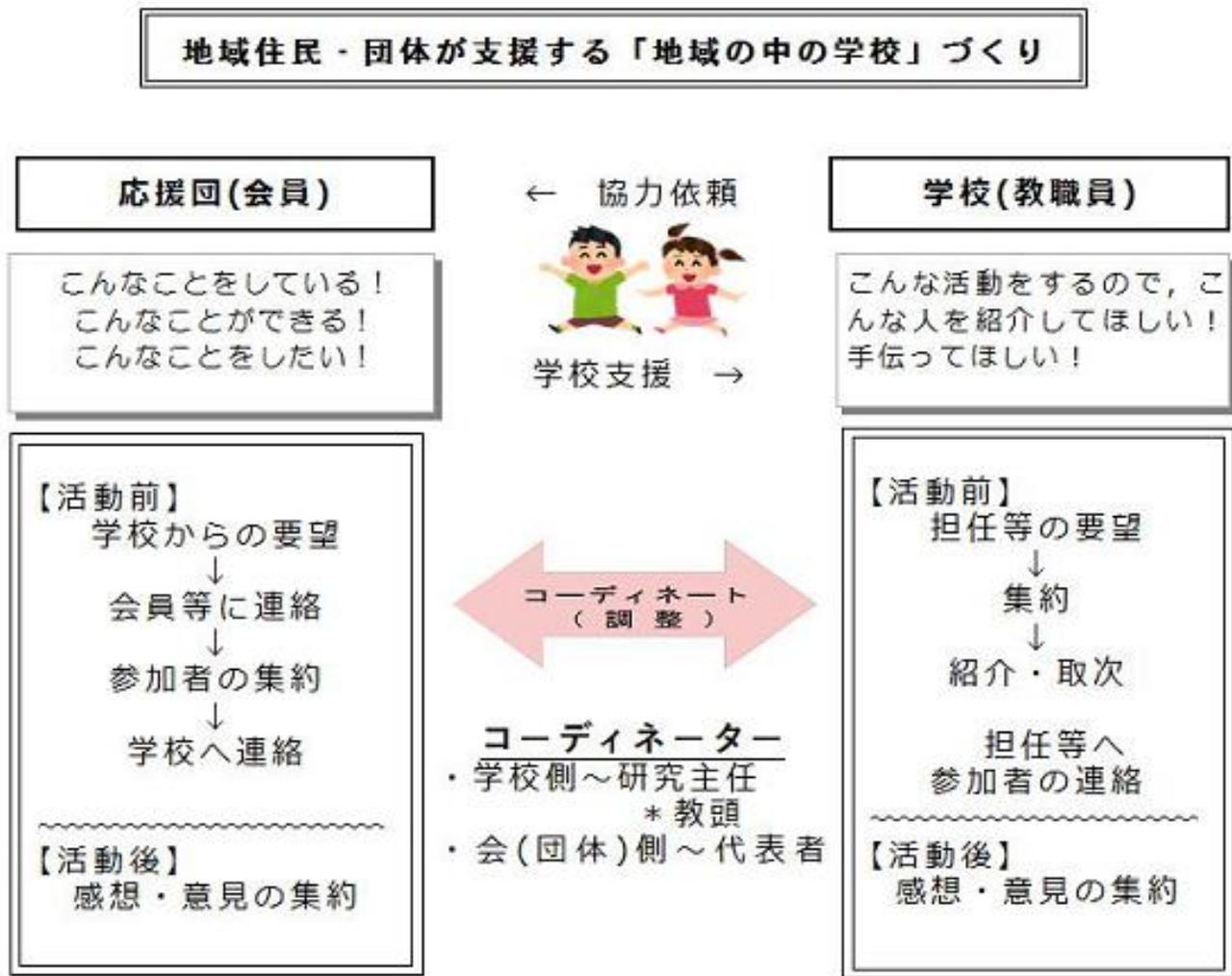
生保内小学校応援団(仮称)について

I 団の趣旨等

- 1 生保内小学校応援団(仮称)とは**
学校のニーズにより、地域ぐるみで学校運営を支援するための組織の集合体とする。
- 2 目的**
地域全体で子どもを守り育てる環境づくりを推進する。
- 3 活動内容**
学校が学習等を進める上で、学校職員だけでは運営が厳しい時に、学習等を手伝うことのできる方を派遣したり、紹介したりする。
- 4 期待される効果**

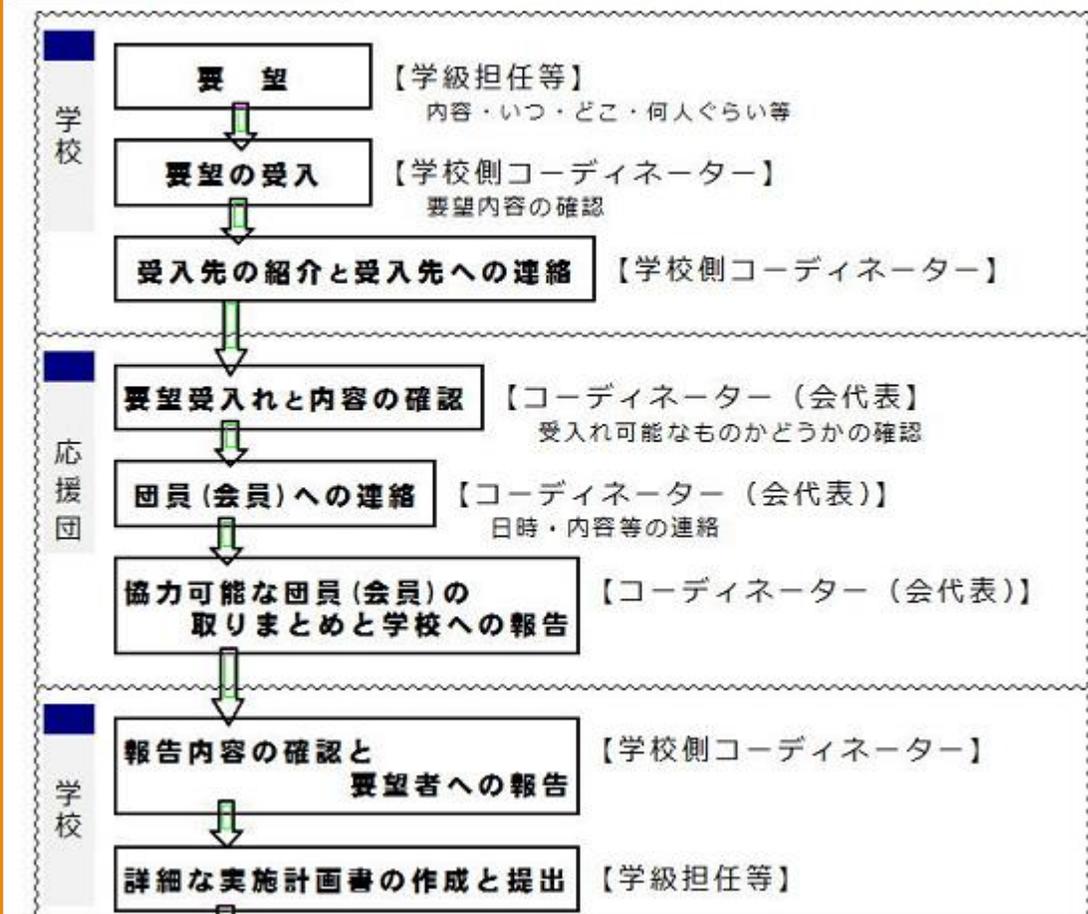
サポート団体の掘り起こしと持続可能な連携

イメージ図



II 実際の動き(流れ)

* 基本的に、正式な依頼状・礼状等はありません。



イメージ図と実際の動きを図表で表した

サポート団体の掘り起こしと持続可能な連携

「応援団要請書」

グループごとに、町探検へ出かけます。

- ・児童の安全確保
- ・事故・体調不良・トラブル等があった時の連絡
- ・どうしてもよいか分からなくなってしまった時の必要最低限のアドバイス

できるだけ、児童の力で探検させたいと考えています。児童の活動が安全に進むように見守る姿勢で同行して頂けると助かります。

応援団要請書

提出日 6月 2日 (金)

要請者	鎌田 真寿美
実施日時	6月 13日 (火) *実活動時間 9時35分～ 11時20分頃 (2～3)校時 *集合時刻・場所 9時 10分 図書室 ※事前打ち合わせをおこないます。 *解散予定時刻・場所 12時頃 ※探検での児童の様子を教えてください。
支援内容	(2)年(梅)組 教科(生活科) どんなことを…(可能な限り具体的に) グループごとに、町探検へ出かけます。 ・児童の安全確保 ・事故・体調不良・トラブル等があった時の連絡 ・どうしてもよいか分からなくなってしまった時の必要最低限のアドバイス
要望その他	<small>できるだけ、児童の力で探検させたいと考えています。児童の活動が安全に進むように見守る姿勢で同行して頂けると助かります。</small>

確認欄

学校側コーディネーター

受理日

確認者印

サポート団体の掘り起こしと持続可能な連携

～実際の取組の例～

2年生活科

4年総合的な学習の時間

サポート団体の掘り起こしと持続可能な連携

☆同行した方の

「子どもの学習を支える手立て」か
「研究の一つの柱」としてとらえるのか。

飛んでタブレットにおさめる
事務室に貼られている言葉をじっくり読む姿があり、その経験が
生かされている。

店内のコーヒーの香りに「いい、ニオイたあー」と
りく君。子供達は思いっきり香りE吸い込む。みんな
ニ... お店の方もほほえんでいた。

☆教師の反応☆

応援団の方々から、探検
子どもたちの様子を見取
とができた。

実際の活動数が少ない...年度末には
検証し、改善策を見出していく。

その他①

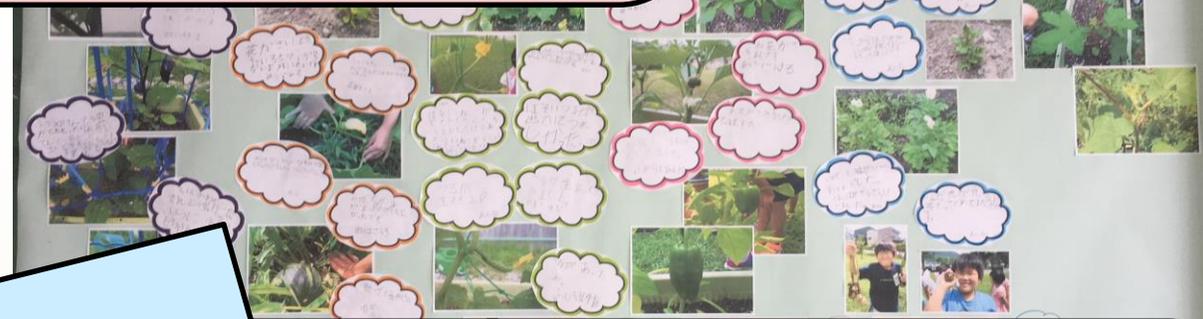
学習環境づくり (教室内外掲示物の工夫)



その他①

学習環境づくり（教室内外掲示物の工夫）

まずは「学習の過程が分かるもの（時系列）」ということだけを共通で確認し、各教員のオリジナルで取り組む。



今後、各教員で見合い、どのようなものがよいのか、方向性を見出す。

その他② 園小連携

～年間計画～

- * 4月 園児の定期健診を小学校で実施
- * 5月 運動会へ招待
- 6月 園の教員の授業参観（指導主事計画訪問）
- * 6月 園小連絡協議会（顔合わせ会）
- 6月 小学校教員による園での1日体験①（研究主任）**
- * **7月 1年生児童の園訪問（「お里帰り」）**
- 7月 就学前小学校南地区合同研修会への参加
- 8月 小学校教員による園での1日体験②（1年担任）**
- 9月 園の教員による小学校での1日体験（年長組担任）**
- * 9月 生小フェスタ（学習発表会）への招待（年長組）

1 1月
1月

秋田県幼小連携理解推進事業への参加

* 2月 園小連絡協議会（年間の反省）

その他② 園小連携

～小学校教員による園での1日体験～

その他② 園小連携

～園の教員による小学校での1日体験～

その他② 園小連携

～子どもどうしの交流（「お里帰り」）～

園の教員の感想から

◎ グループ学習の難しさ = 自分の考えと言葉などで表現する力、友達の意見や話をよく聞く力、考えたり意見をとり入れたり、友達の良さに気づいて調整する力など、幼児期からの積み重ねの大切さを改めて感じた。

・ 初めて、小学校での給食の姿を見せて頂き、園でも、小学校へ向けて、少しずつできることがあるのでは、と、見直す機会となった。

普段から遊びの中で絵を描いたり文字を書いたり、散歩に行くと季節を感じたりしています。

小学校の教員の感想から

数多くの「遊び」の中で数多くの「学び」を実感
～園児が自主的に動き、学んでいく～

園児が安心して、安全に活動できる環境づくり

一緒に遊ぶことを通して、園児の目線でものごとが見えてきた

教師の支援・手立ての加減・タイミングの巧みさ
例) 「どんな場面で、どんな声かけをするのか？」

園での段階でもうすでに「できていること」がたくさんある

その他②

～園小連携を通して見えてきた課題...～

相互に意味のあることをしているが、発達段階の違いにより、**やり方が異なる**ことを理解

例) 着替え

相違点だけでなく、**共通点**も見出していく。

連携段階表からすると、まだ第2段階
互恵性を求めた（教師どうしが対等な関係）連携
（第3段階）へステップアップを！

「育ち」と「発達」を再検証

子どもの「発達」と「学び」は連続している！



これまでの取組の成果と課題

～教員へのアンケートや児童の様子から～

成果【生活科】

。帰りの会や、学習カードに「生活科が楽しい。」という言葉が多く聞かれ、普段大人しめの子どもたちが生活科になると元気に話し、おなから声が出る。また、人と関わりようとする意欲が出てくる。

「生活科が好き」という子どもの姿

野菜の観察では、見るだけでなく、触ったりにおいを嗅いだり、また長さを測ったり比べたり…など豊かな観察ができるようになった。

様々な見方ができる子どもの姿

生活科の時間内だけでなく、登校時、帰宅後などいろいろな気づきが始まる。朝、歩きながら秋の物を集めてくる子どもも出てきた。

普段の生活の中で生かす子どもの姿

まち探検では、実際にその場所へ行って見ること・地域の人と触れあうことで、地元「生保内」の良さに気づき、愛着の気持ちを高めることができた。

地域への愛着心を高める子どもの姿

成果【生活科】

なるべく「見守る」姿勢を意識したことで、子どもの自主的・自発的な活動を見ることができた。意識させたいことについて、目を向けさせるような声かけを試行錯誤することができたと思う。

「子どもの話を最後まで聞くようになりました。」

↓
いいと言ったり、大事なことをしたりの
考えです。気づきを伝えようとしている
ことはいっぱいあります。

**「見守る（待つ）」「耳を傾ける」「声かけの仕方」を大切に
する教師の姿**

子どもたちの様子を見て、園で習得してきていて、お任せ
できること、できることを知り、時間のむだづかいの子どもたちに
減ってきています。^(可能な)大げさに言えば「子どもを信じる」ことのできるようになったです。

園小連携等を通じた実態把握による的確な支援・手立てを講じる教師の姿

成果 【総合的な学習の時間】

活動中にお世話になった方々との関わりが、子どもたちに温かい思いとして残っていると感じる。

色々な人たちとかかわりあうことを通じているように感じる。

人とかかわりを通して、見方・考え方が広がる子どもの姿

自分のふるさと仙北市について理解を深め、誇りに感じている姿が見られる。

体験後のまとめなど「やっぱり田沢湖はいいな」という発言が多く聞かれ一つ一つふるさとへの思いが膨らんでいく姿が見られる。

地域を改めて見直し、さらに愛着心が高まる子どもの姿

課題についての調べ方を身に付けてきた。

グループ学習での他とかかわりを通して、リサーチ力が身に付いてきた。

「学びの基本スタイル」が身に付いてきた子どもの姿

成果 【総合的な学習の時間】

自分で事前に訪問し、打ち合わせを繰り返してきたことで、私自身が地域や人の思いを感じながら学習計画を

色々な方々とのネットワークが広がった。

子どもとともに地域にかかわり、地域の思いや願いを生かした単元づくりを行う教師の姿

報やどの機関に相談すれば、知りたい情報や

外部の人からの情

一人で抱え込まず、他に協力を求めながら教材研究を行う教師の姿

教師自身も子どもと共に仙北市を何とか良い方向にという意識が高まった。教師自身のやる気が高まった。

子どもとともに自らも高まっていく教師の姿

課題【生活科】

・自分の思いの強さも個人差が大きく、グループになった時、自然発生的でも活弁に必要な時間の子どもによって大きく違いが出ること。

**子どもの個人差
(思いの強さ・時間など)**

人数が多いため、一人一人の思いを形にする際など、個々に対応し聞き取れながら具体化するのに手が足りない。「何について、どうに表したいのか」は、低学年だと対話をしないとかな

**子ども一人一人への支援・対応
の仕方**

発表活動をさせる際、何となく小さくまとまってしまう感がある。子どもたちに、もっとダイナミックな活動をさせたいと思う。

・子どもの実現したい思いを活弁にしている時に、難しいわけではあるほど、アイデアの必要になり、自分の創造性の低さを痛感。そして子どもの活弁が行き詰まる。

子どもの表現等、活動をもっとダイナミックに...そのための教師の支援

せっかく良い思いをもっているのに、友だちと交流させると流されてしまい、変更してしまう様子が見られる。「やっぱり、こっちがいいと思う!」と自信をもって話されると、「こっちの方がいいと思うらしい。」

子どもの思いや願いの変化への対応

課題【総合的な学習の時間】

子どもの思いを大事にしようとする、活動内容、方面が多岐にわたり、個々やろうとしていることが多岐にわたるので指導やコーディネートが大変。だんだんと教師（大人）の思いも強くなり、子どもの思いと乖離していったり、心配。

子どもの思い・願いを生かした単元・授業づくり
*教師の思い・願いとの兼ね合い、コーディネート力

グループによって差が出る。

グループすべてが同じ足並みで進むことがなかなかできない。活動が活発なグループと停滞しているグループと色々。

グループ活動の差への対応

地域を学ぶにあたって、自分自身（教師自身）の知識が足りていないと感じる。

教師自らがもっと地域を知る

ゲストティーチャーを招く場合は、学校のことや小学生の学習について理解していただかないといけない。そのためには話し合う時間が必要。

ゲストティーチャーの把握とその活用の仕方

た。ただ、これも積み重ねが必要。

「自分に必要か精報を選び、分かりやすい文章でまとめる。」ということ、各教科の学習に身につけさせなければならないと思う。

他教科との関連



ご清聴，ありがとうございます。

忌憚のないご意見・ご感想をお願いいたします。